三重大学の講義の一部を公開します

現代社会理解特殊講義１
社会への扉を開こう

三重大学 学長
伊藤 正明

２０２５年、三重大学で初めてとなる学長企画の授業を開講します。三重大学役員による講義と日本の各分野で活躍されている著名な方々による講義を通して、変化が速く不確実かつ多様な現代社会への理解を深めるための講義を行います。この授業における講義の一部を市民の皆さんに公開いたします。

本学の学長・理事・副学長に加え, 様々な分野からゲスト・ティーチャーをお招きします。

© MSF
国境なき医師団 日本
外科医 久留宮 隆

株式会社近鉄・
都ホテルズ 取締役
志摩観光ホテル
総料理長　樋口 宏江

東京外国語大学
前学長
林 佳世子

毎日新聞社 論説委員
木村 旬

万協製薬株式会社
代表取締役社長
松浦 信男

鈴鹿大学. 教授
平井 一正

三重大学
理事・副学長
金子 聡

三重大学
理事・副学長
湯浅 陽子

三重大学
理事・副学長
（光機械製作所 社長）
西岡 慶子

三重大学
理事・副学長
（学校法人 先端教育機構
事業構想大学院大学 学長）
田中 里紗

三重大学
副理事・副学長
小林 一成

授業公開日とテーマ・担当者　※授業時間帯は、各授業日の16時20分～17時50分

授業日/講師	テーマと内容
第1回 （4月16日） 伊藤 正明	これから学ぶ三重大生へのメッセージ 得意なこと、好きなことを仕事とできれば、社会でより活躍できる。このために学べる所が大学。三重大学で何を学ぶか、社会を理解して考えよう。何をするにも必要なものは、心身の健康。人の進化から、健康維持の秘訣も理解しよう。
第2回 （4月23日） 松浦 信男	苦難に立ったときこそ、人生を諦めない生き方のすすめ 人生は運、鈍、根で決まる！ 阪神大震災から30年、全てを苦難を乗り越えて三重県で掴んだ失敗と成功について。人間の人生はほんのわずかな偶然に起こる運命で、大きく変わります。その変化点を見逃さず、諦めない事で掴んだ私自身の人生成功の秘訣について話したいと思います。
第3回 （5月7日） 久留宮 隆	現代社会における国際医療の役割 現在の混沌とした世界情勢における逼迫した医療状況は、平和な日本社会の中からはなかなか見えてこない部分である。講義では国境なき医師団の活動から、特に発展途上国を中心とした世界の医療状況について紹介するとともに、今後の展望について考えていきたい。
第4回 （5月14日） 湯浅 陽子	前近代中国における知識人と社会 紀元前から近代以前に至るまで中国の社会と文化の中心的存在であった知識人たちは、広く社会に貢献することを常に理想としていました。ここでは代表的な事象や人物に関わる資料から普遍的な現象としての人と社会の結びつきについて考えます。
第5回 （5月21日） 平井 一正	自分自身の才能を開花させるためには 人間一人一人必ず素晴らしい才能を持って、世に誕生している。その才能を本人がいつ気づくか、他人に見つけてもらうか、人それぞれであるが、そのチャンスを掴む人は平生のおこないが大切である。
第6回 （5月28日） 木村 旬	社説から世界が見える 戦争、インフレ、政治の漂流。先の見えない時代に立ちすくむしかないのでしょうか。講義で用いる新聞の社説は身近な現場の取材を通じて世界の今を読み解きます。ミクロからマクロへ視野を広げ、将来を考えるヒントにしてみてください。
第7回 （6月4日） 林 佳世子	歴史から中東の「今」を考える 現在、中東地域は様々な問題を抱えています。ガザ紛争が焦点ですが、これはイスラエル建国以来の問題です。シリア、クルド、宗派対立、産油国の権威主義体制など問題は多様です。問題の多くは、歴史的に生成されてきたものです。歴史から中東の「今」を考えてみたいと思います。
第8回 （6月11日） 金子 聡	環境とサステナブルな社会 サステナブルな社会とは、地球環境に負荷をかけず、人や社会が豊かに暮らしていける社会のことです。本講義では、環境問題、資源の再利用、環境負荷低減化技術などを概説します。
第9回 （6月18日） 小林 一成	科学・技術の最前線と日本の現在地 現在、幅広い先端分野において熾烈なグローバル競争が繰り広げられています。これらの科学・技術が社会にどのようなインパクトを与えるかを概観し、科学・技術における日本の現在地から私たちが今すぐにとるべき行動について考えます。
第10回 （6月25日） 樋口 宏江	「御食国」みえの食材を新しい一皿に　～伊勢志摩ガストロノミー～ 料理人を志したきっかけから総料理長となるまでの道のり、歴代総料理長から受け継いできた料理哲学を継承することの難しさや楽しさについて。また「伊勢志摩サミット」での経験と、素晴らしい地元食材、情熱を持った生産者さんとの出逢いを経て作り上げた「伊勢志摩ガストロノミー」の取り組みについてお話しします。
第11回 （7月2日） 田中 里沙	セルフブランディングのすすめ ～自分の強みを知り、価値向上を目指そう 社会に新しい価値を創り出すことが期待される中で、その実現には自身の得意を活かしながら①挑戦すること②考え続けること③仲間と共に成長することが大切です。そのような環境を引き寄せて夢と希望を形にしましょう。
第12回 （7月9日） 西岡 慶子	違いを価値に　～ダイバーシティの力が世界を拓く～ 先の見通せない今の時代、GAFAMなど世界をリードする企業では人材の多様性を軸に企業価値を向上させています。米国企業での勤務と会議通訳としての経験を経て、工作機械メーカーを多様な人材が活躍する業界屈指の企業へと変革してきた、光機械製作所のトップが今の時代に求められる「ものの見方・考え方」と「学び」についてお話しします。

上記の第1回から第12回の授業を一般公開いたします。 聴講を希望される方は、
申し込み用フォーム（https://forms.office.com/r/e4wS7L6wGr）または
右のQRコードより聴講の登録をしてください。申し込みをいただいた方には
詳細の情報をお送りします。

問い合わせ先：三重大学全学共通教育センター
下村 智子（tshimomura@ars.mie-u.ac.jp）